



4 歳児クラスにおじゃまするとネコちゃんたちに威嚇された…

「節分」文字通り季節を分ける日。立春、立夏、立秋、立冬、それぞれの前日にあたりますが、季節は暦通りにはなりません。まだ寒い「立春」です。

様々な地域で節分行事の鬼払いが行われますが、特に立春前の節分は、冬の間にたまった邪気（鬼）を追い払う大切な習わしであったとのこと。

子供たちには、「節分は春を迎える準備をはじめる日だよ」と伝えました。春が近づくにつれて新しいスタートに期待を膨らませたり、春の息吹を感じて嬉しくなったり、そんな日々にしていけるといいな。

風の子便り



KAZENOKO DAYORI

滋賀大学教育学部附属幼稚園



『十人十色』生活発表会



生活発表会への取組が各クラスで楽しく展開されています。クラスの子供たちの遊びの様子や好きなお話をヒントに、表現遊び、言葉遊びを楽しんでいます。さて、ここまでは「生活」遊び、「発表会」となると一人一人の「らしさ」もにじみ出てきます。

- ◎ 出番の前にドキドキが止まらない子
- ◎ 慎重派なのか、ちょっぴり声が小さい子
- ◎ 先生や友達の「いいね！」で張り切れる子
- ◎ 自分のイメージを気持ちよく表現する子

「人見知り」「天真爛漫」とか、きっとそういう性格も出るんだろうな。「落ち着いた」とか「あわてんぼう」とか、そんな気質もでるのかな。うん。十人十色でそれがいい。

“いま”の自分を安心して十分に表現しながら、友達のよさに気付いて取り入れてみたり、手ごたえを感じたりしながら、“明日”をもっと楽しくしていける生活発表会になるといいな。

そう！ 明日の私は 今日とはちょっと違う私！

明日はもっといい日になる



残り少ない園生活を満喫する年長児。コマ回しも楽しく取り組み、できるようになってきた子たちが増えてきました。

一番初めに回せるようになった A さん。これまでは目立って何かができるタイプではないのです。聞くと「だって僕は年中の時から見てたから」とのこと。思い起こすと、確かに年長児に混ざってコマを見たり触ったりしていました。

「コマが回せるようになった」そこに至るまでずっと長くコマをカッコよく回せる自分を思い描いていたのでしょう。

「なりたいと願う自分がある」そして、その自分に近づいてきたことに手応えを感じたり、そんな自分になれたことの喜びを積み重ねたりすることは、これからの人生を涉っていくための大きな糧となるはず。

きっと僕は もっといい僕になれる！ 誰しもがそんな思いをもって日々を暮らしているんだとあらためて感じるこの頃です。





～副園長のおしゃべり～

小学校生活科についてのセミナー『「やってみたい！」からはじまる生活科』を開催しました。土曜日ににもかかわらず、小学校から大学まで37名の参加があり、あらためて幼児教育と小学校教育の接続的教科である生活科について学びを深めることができました。生活科の目標「**様々な人、自然、社会との関わりの中で、具体的な活動や体験を通して自立し生活を豊かにする**」は幼児教育の少し先ではあるけれど、環境を通して学ぶことはやはり子供の学びには大切なことだと実感しました。また学び方については「**思考と表現が一体となって繰り返し行われることによって気づきの質を深める**」とあります。つまり、「考える・やる・伝える・確かめる」など遊びの中で繰り返し行われる行為とまさに類似しています。

人、社会、自然に関心をもち自ら関わろうとする。このような資質や能力が育まれることは間違いなく地球を豊かにすると思います。「**人間としての本質は幼児期からの教育が礎となる！**」ほぼ全員がスマホに目を落としている休日の電車の車内でそっと、しかし強くこぶしを握り、帰路についた私でありました。

季節のアルバム



寒い寒い一日。用意していたタライにしっかりと氷が張りました。「この上でコマ回せるかも！」面白いことを考えてやってみた4歳児。ステキ！



給食を楽しみにしていた子供たち。白ご飯を何度もおかわりしたり、おかずを全部食べたりとてもはりきってほぼ完食！次も楽しみだね。



はじめての発表会を迎える3歳児。いつもはクラスで楽しんでいる表現遊びを見てもううれしはずかし。友達と一緒にいいね！



発表会前日、全園児の前で人形劇を演じる5歳児。肝が据わっているというか、経験を力にしているというか。さあ、本番も楽しみだ！



「次はこうしよう！」長縄遊びがどんどん多彩になってきた4歳児。3人が手をつないで一緒に跳ぶ。コミュニケーションを豊かにする遊びです。



築山の上に大勢のオニが現れた！！ポーズもかわいらしい3歳児。自然や自身の心に潜むオニを追い払って元気いっぱい！いよいよ春！

今でこそ、「なんでもできちゃう副園長」みたいに言われている（と勝手に思い込んでいる）私ですが、もちろんはじめからうまくいくことはほとんどなく寸法を間違えておしゃかしてしまった水道パイプが何本もあって、それはそれで授業料だと思っている。ミスたびにガラクタが増え道具が増え、家人にとっては不要物だらけらしい…。やってみたことがうまくいくようになった。この積み重ねで得た経験からあふれる意欲を「根拠のない自信」と人は言うが、根拠は自分の中にあるのである。

まあ、それでも失敗は繰り返すのだが、きっとそんな私の未来は明るい。さあ、明日はケーキでも焼いてみよう。コメント、感想求む！

「紙面で読みたい」リクエストも（たくさん？）あったので、なかよしホール前掲示板に据え置きしまーす

